



はじめに

はじめに

インドに行くきっかけとなったのは、去年参加したカンボジアのスタディツアーでした。それまでは、両親のはからいで何かと海外旅行をする機会はありましたが、毎度いまいち楽しめず、自主的に旅行に行くこともありませんでした。そもそも「外出」自体が億劫なインドア派の私の日常は、TSUTAYAと図書館、スーパーがあれば事足りてしまうほどで、海外などもってのほか。当然、カンボジアもそれまでの旅行と同じように、出不精な私の将来を案じた母の「金を出す。世界を見ろ。」という命令からでした。

こうして、たまたま参加したカンボジアのスタディーツアーでしたが、それが予想外に面白かったのです。ハンモックで寝たり、地雷撤去を見学したり、ココロギを食べたり・・・そんなスタディーツアーならではの新鮮な体験もさることながら、その主催者である安田さんの人柄も素晴らしく、彼女の目から見た、カンボジアは本当に多面的で興味深く感じました。彼女との出会いで私は、『旅行』という言葉にしばられない旅の楽しみ方を知り、気づけば「もっとたくさんこの世界を見たい」という気になってしまっていました。

これからお話するのは、そんなカンボジア旅行から半年経ち、バイト代を貯めて向かったインド旅行についてです。（本当に旅行に行きたくなったら、出資してくれないのが我が家の両親のようです）。初対面で共に旅したスミレさん、格安旅行ならではのうっかりガイドのモハメッド、そしてマイペースな私。トラブル続きかつ、全力で楽しんだ三人の珍道中、どうか最後までお付き合いくださいませ。



平成24年5月20日 西端千晴